

# 令和3年度事業報告

## 1. 概 要

令和3年度は、2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済活動や市民生活に大きな影響がありました。就業開拓をはじめ各種事業に積極的に取り組んだ結果、コロナ禍においても順調な事業運営を行うことができました。

令和3年度の実績は、会員数が、随時入会受付や出前入会説明会の実施のほか、様々な広報活動などにより、過去最高の4,408人、前年度比較179人の増となりました。

契約金額については、受託事業は、契約金額1,002,638,779円 前年度比較20,974,921円、2.0%の減となりましたが、派遣事業は、713,493,097円 前年度比較43,241,495円、6.5%の増となり、合計で1,716,131,876円 前年度比較22,266,574円、1.3%の増と過去最高の実績となりました。

契約件数では、受託事業と派遣事業合計で、29,598件 前年度比較115件の減となりましたが、受託事業の配分金と派遣事業の賃金等の合計では1,395,004,931円、前年度比較 11,185,982円、0.8%の増となっております。

派遣事業の就業実人員を加えた就業率については、76.0%となりました。

主な実施事業は次のとおりです。

### (1) 就業開拓及び就業率の向上

① 就業推進グループによる事業所を中心とした積極的な就業開拓活動を行うとともに、グループ内の契約目標額を定め、毎月その達成状況を確認するなど徹底した進行管理を行いました。

- ・契約目標額 700,000,000円
- ・契約実績額 713,493,097円
- ・目標達成比 101.9%

② 総務課、業務推進課、生活・就労支援センター、会員困りごと相談窓口、ジョブコーディネーター間の連携を図り、受託・派遣に係る就業先と会員とのマッチング等を効率的に行い、就業拡大に努めました。

③ 繁忙期作業の平準化及びリピーター対策として、剪定、草刈、草取の既発注者（受注実績を5年前までに拡大）に対し、発注のお礼と受注依頼文書を送付し、先行予約による受注拡大を図りました。

送付件数 1,205件 予約依頼件数 181件（15%）

④ センターへの仕事の発注が期待される企業・法人等に対し、発注依頼文書を送付し、連絡があった企業等を訪問するなど重点的な就業開拓を行いました。

- 7月 ・卸売業関係（155件）
- 8月 ・商工会議所の広報チラシ折込み（6,200件）
- 11月 ・不動産関係（395件）
- 3月 ・介護事業所関係（360件）

- ⑤ サービスの質の向上を図るため、剪定、草刈、草取、生活支援、屋内外清掃を対象に、顧客満足度調査を実施しました。
- ・送付件数 650件 回答件数 350件
- ⑥ 民生委員・児童委員等との連携による地域に根差した生活支援サービスを提供するため、サービスの担い手となる会員を養成する研修会等を開催しました。
- ⑦ 鹿児島市と連携し、市内の空き家の管理、墓掃除等のサービス提供を実施しました。
- ・令和3年度市外からの受注実績
- |                  |      |             |
|------------------|------|-------------|
| 空き家管理（剪定、草取り等含む） | 701件 | 17,291,117円 |
| 墓守・墓掃除           | 120件 | 1,512,059円  |
- ⑧ 新規の就業開拓を行った会員へ報奨金を交付しました。
- ・交付実績 48件
- ⑨ ジョブコーディネーターを配置し、未就業者等への就業案内や入会希望者へきめ細かい説明を行うなど、未就業者対策の強化及び新規入会の促進に努めました。
- ⑩ ホームページを随時更新し、常に新たな就業情報等の提供に努めたほか、入会説明会終了時、入会手続きされた方に就業案内を行うなど就業率の向上に努めました。
- ⑪ お客様からの注文受付が24時間365日可能なインターネット申込「たすか～る」事業を行いました。
- ・受付件数 255件
- ⑫ 鹿児島市の指定管理者として、「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」、「すこやかランド石坂の里」及び「さくらじま白浜温泉センター」については、それぞれの施設の適正管理に努めました。
- なお、「東千石・山之口・中町自転車等駐車場」及び「すこやかランド石坂の里」については、令和4年度から8年度までの指定管理者募集に応募し、次期指定管理者として指定を受けました。
- ⑬ 就業開拓にあたっては、既発注者の掘り起こしや会員の希望の多い職種等を強化するとともに、就業会員による就業先でのチラシ配布など、センター事業のPRに努めました。

## (2) 会員の拡大及び資質の向上

- ① 出前入会説明会を谷山地区で開催し、会員の加入促進及び就業案内に努めました。

	開 催 日	場 所	参 加 者	入 会 者
谷 山	3 . 2 . 17	谷山市民会館	15人	15人

- ② 毎週水曜日の高齢者失業認定日に「ハローワークかごしま」を訪問し、来訪者への入会促進を積極的に図りました。
- ③ 会員拡大、就業拡大を図るため、シルバー広報用チラシを作成し、7月、11月、2月に南日本新聞で折り込み広告を行い、市内全域に配布しました。
- ④ 県連合会が受託している高齢者活躍人材確保育成事業を活用した各種講座会場に出向き、市民への積極的な入会促進を図るとともに、既存会員に対する就業相談を行いました。

講 習 内 容	開 催 月	修 了 者	入 会 者
生活援助支援講習	6月	10人	5人
草刈り（機械刈）講習	10月	14人	3人
宛名・賞状記名講習	11月	18人	8人
店舗スタッフ衛生管理講習	11月	8人	3人
施設清掃スタッフ講習	12月	14人	0人
計		64人	19人

- ⑤ 8月から9月を「入会促進キャンペーン月間」とし、積極的な広報活動を行ったほか、この期間に入会した方へ粗品をプレゼントするなど入会促進を図りました。

また、入会者が減少する1月以降についても、会費の減免措置を行うなど入会促進を図り、早期の就業につなげる取組みを行いました。

- ・ 8～9月入会者 68人
- ・ 1～2月入会者 75人
- ・ 3月入会者 73人

- ⑥ 女性限定入会説明会を開催し、女性会員向けの就業案内や女性会員の活動・アンテナショップ「おじやつたもんせ」・ひまわり劇団等の紹介をはじめ、会員による手作り講座で参加者自身の作品をプレゼントするなど、女性会員の入会促進に努めました。

- ・ 開 催 日 令和4年1月27日（木）
- ・ 開催場所 シルバー人材センター 大会議室
- ・ 参 加 者 12人、入会者9人

- ⑦ 年金支給日に各支部の金融機関前でチラシ配布を行うなど、支部の会員拡大に努めました。
- ⑧ 鹿児島市役所「生活・就労支援センターかごしま」内の当センター常設窓口で入会相談等を行いました。
  - ・相談受付件数 492件
- ⑨ 入会説明会、高齢者活躍人材育成事業講習会等において、入会に至らなかつた方をシニアパートナーとして登録し、情報発信等を通して入会促進を図るとともに、就業を希望しない会員については、互助会や地域活動に参加できるプラチナ会員制度の周知に努めました。
  - ・シニアパートナー登録者数 6人（うち入会者数1人）
  - ・プラチナ会員登録者数 17人
- ⑩ ハローワークでの入会勧奨活動を行ったほか、引き続き会員による入会促進を図るため正会員入会報奨金を交付しました。
  - ・交付実績 19件
- ⑪ 会員の後継者育成と技能向上を図るため各種研修会を実施しました。

### （3）適正就業の推進

- ① 令和3年度も「ゆずりあう 心・笑顔の適正就業」をスローガンに、法令遵守はもとより「適正就業に関する基準運用方針」に基づき適正就業の推進に努めるとともに、同方針における適用職種の明確化を図るため、継続就業期間の制限を設ける職種に「施設管理、施設清掃、駐車場管理」を加えました。
- ② 職群班である駐輪・駐車班、公園清掃、墓地清掃、運搬班を通じ適正就業の意識が会員へ広く浸透するよう周知を図るとともに、会員の募集にあたっては、募集要項をホームページや庁舎内に掲示したほか、ジョブコーディネーター及び生活・就労支援センターを活用して、多くの会員への周知を図りました。

### （4）事業推進体制の強化

- ① 業務量の増減等に伴い、総務課2人減、業務推進課1人増員するとともに、有期雇用職員2人を無期雇用職員へ転換しました。
- ② 会員の就業相談体制（マッチング）の強化を図るため、未就業者等へのきめ細かな対応を目的とした未就業者等割当制を引き続き実施しました。
  - ・1,050人に連絡し345人（32%）が就業
- ③ 就業開拓や事務局での電話応対、電算入力業務など、事務量の増加等に対応するため、積極的な会員活用を図りました。

- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響による令和2年度の事業中止等に伴う財源を活用し、3年度会費を減免しました。
- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| ・令和2年12月までの入会者  | 免除           |
| ・令和3年1月から2月の入会者 | 減額 会費 2,000円 |
| ・令和3年3月以降の入会者   | 会費 3,000円    |
- ⑤ 既に草取りで導入していた夏季料金（夏季作業の暑さ対策費用を通常料金に加算したもの）を、新たに剪定、草刈、公園草刈、墓地清掃、墓地草刈、公園運搬にも導入しました。
- |     |       |
|-----|-------|
| ・期間 | 7月～9月 |
|-----|-------|
- ⑥ 県の最低賃金の見直しに伴い、令和3年10月からの賃金（派遣）改定を行いました。
- ⑦ センターの事業運営の概況等について、地域班会等で会員へ情報提供しました。
- ⑧ 全シ事業協会、九シ連絡協議会、県シ連合会等の研修会等に役員、職員がオンライン等で参加しました。
- ⑨ 職群班の相互の連携及び情報共有を図るため、職群班統括班長会議を開催しました。
- ⑩ 設立40周年記念式典を開催（令和3年10月14日 サンエールかごしま）するとともに、記念誌や記念映像「40年のあゆみ」を制作し、ホームページに掲載しました。

## （5）安全就業の推進

- ① 毎月1日の「安全就業宣言の日」に、事故事例や交通安全の注意喚起及び季節ごとの健康に関する情報等を掲載した「安全ニュース」を発行し、会員の安全就業に対する意識の啓発を行いました。
- ② 安全就業推進委員会を開催し、発生事故の原因解明や再発防止策の検討を行ったほか、賠償事故については、「会員の事故防止に資するための措置要領」に基づき、当該会員へ文書注意等の処置を行いました。
- ③ 安全就業の推進を図るため、安全就業推進委員会の委員及び職員による予告なしの安全パトロールを実施し、機械、器具等の使用上の注意や現場での留意事項について指導を行うなど事故の未然防止に努めました。
- |               |           |
|---------------|-----------|
| ・安全パトロール実施時期等 | 4月～2月 20回 |
|---------------|-----------|
- ④ 草刈作業における飛び石事故防止のため、両刃回転式刈払機「カルマー機」の使用を推奨しました。

- ⑤ 派遣の労働災害事故増加に対処するため、事故事例を中心とした「派遣ニュース」を年2回発行し、派遣就業会員に配付しました。
- ・「安全ニュース」 発行数 9月と3月に1,900枚発行
- ⑥ 派遣会員の安全と健康を保持するための衛生委員会を開催し、労働災害事故の検証等を行いました。
- ・開催日 5月27日、8月19日、12月2日、3月3日 年4回
- ⑦ 高齢者による交通事故が増加傾向にあることから、派遣の運転業務に係る会員の運転適正検査を義務化し、実施しました。
- ⑧ 職群班及び各支部、合同班会等において、事故の発生状況等を報告するとともに、安全講習会を開催しました。
- ・参加者数 職群 507人、支部 112人 計 619人
- ⑨ 安全意識の高揚につなげるための安全就業に関する標語募集に109点の応募があり、最優秀賞等の作品6点を選定するとともに、標語については、事務所内に掲げるなど会員、職員の安全就業に対する意識啓発に活用しました。
- ⑩ これらの対策を講じたことにより、令和3年度の発生事故は、傷害、賠償事故合わせて受託事業が41件、派遣事業が30件計71件となり、前年度に比べ1件減少しました。

#### ・事故の発生状況（年度別推移）

(単位：件)

区分		30年度	元年度	2年度	3年度	対前年増減
受託	傷害	13	12	22	15	△7
	賠償	16	15	22	26	4
	計	29	27	44	41	△3
派遣	傷害	18	7	17	14	△3
	賠償	4	4	11	16	5
	計	22	11	28	30	2
計	傷害	31	19	39	29	△10
	賠償	20	19	33	42	9
	合計	51	38	72	71	△1

・令和3年度 月別事故発生状況

(単位：件)

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
受 託	傷 害	1	1	0	1	2	3	3	0	3	1	0	0	15
	賠 償	2	7	1	5	3	0	3	2	2	0	0	1	26
	計	3	8	1	6	5	3	6	2	5	1	0	1	41
派 遣	傷 害	1	1	0	2	2	2	0	1	0	3	1	1	14
	賠 償	1	3	0	0	0	2	4	5	0	0	0	1	16
	計	2	4	0	2	2	4	4	6	0	3	1	2	30
計	傷 害	2	2	0	3	4	5	3	1	3	4	1	1	29
	賠 償	3	10	1	5	3	2	7	7	2	0	0	2	42
	合 計	5	12	1	8	7	7	10	8	5	4	1	3	71

・事故の内訳

【傷害事故の内訳】

(単位：件)

区 分	骨 折	裂 傷	熱中症	打 撲	その他	計
受 託	2	6	3	2	2	15
派 遣	6	0	0	3	5	14
合 計	8	6	3	5	7	29

【賠償事故の内訳】

(単位：件)

区 分	草刈(飛石)	草刈(接触)	剪定(接触)	車両(物損)	その他	計
受 託	8	2	5	4	7	26
派 遣	0	0	0	2	14	16
合 計	8	2	5	6	21	42

## (6) 独自事業の推進

- ① 「ワンコインまごころサービス」については、市の支援を受けながら、高齢者世帯のごみ出し等のサービスを実施しました。

延利用回数（年間）

- ・100円 9,510回
- ・500円 287回

- ② アンテナショップ「おじやつたもんせ」では、会員手作りの野菜や手芸品及び賛助会員の特産品等の販売を行ったほか、「さくらじま白浜温泉センター」において、出張販売を行いました。

- ・総売上額 2,341,884円

③ 会員の健康保持を図るため、市場価格より廉価で購入できる家庭常備薬等の斡旋販売を行いました。

・斡旋販売額 584,540円

④ 年末物品販売については、毎年恒例の会員手づくりの桜島小みかん、乾燥したけ、米など多数の商品や、賛助会員からのギフト商品販売のほか、新鮮野菜等の当日販売も行いました。

・販売商品数 23品目

・販 売 額 578,480円

・当日販売額 44,835円

⑤ 桜島フェリーターミナル内の「ほほえみサロン」では、センターの情報発信の場として、市民、会員向けの講座を開催するとともに、「会員困り事相談窓口」を月1回開設し、会員からの相談に対応しました。

・講 座 開 催 5回開催 22人参加

・困り事相談窓口 相談者数 24人

## (7) 普及啓発活動の推進

① 入会説明会やイベント等の案内について、市広報紙「市民のひろば」、地元紙、地域情報誌、折り込みチラシなどを活用して積極的な広報に努めました。

② 求人やイベント等の情報をリアルタイムで発信するなど、ホームページによるタイムリーな広報宣伝に努めました。

③ 会員の多才な芸能や技能を活用し、福祉施設等を訪問する「ひまわり劇団」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けましたが、市民の皆さんに喜んでいただき、当センターの活動をアピールすることができました。

・活動状況 6月～2月 訪問回数 4回 訪問延べ会員数 21人

④ 当センターの事業等についての情報発信として、会報「かごしまシルバーだより」第77号（4月）、第78号（9月）を発行し、全会員へ送付しました。

⑤ センター活動の宣伝、啓発等を図るため、9月から10月に山形屋3階ブリッジギャラリー及び鹿児島市役所東別館1階市民ギャラリーで、会員67人・同好会（希楽会）の作品105点やセンター事業の概要等を展示、紹介しました。

⑥ 事業案内や就業拡大のため、センターの会報誌及びチラシを市役所、各支所、高齢者福祉センター、各地域公民館等70施設に送付しました。

⑦ 各地域班において、清掃等のボランティア活動にのぼり旗を掲揚し、市民への啓発に努めました。